

天童市議会だより

2017
2.1
No.155
TENDO



12月定例会



- 2 一般質問 11人
- 9 予算特別委員会 平成28年度補正予算
- 10 提出された議案とその結果
- 12 特集1 行政視察の報告
- 14 特集2 議会報告・意見交換会
- 16 市民の声・3月定例会の日程（予定）

▲雪中カルタ取り大会は、干布小学校全児童を対象に、昭和50年から行われています。交通安全標語が書かれたカルタを学年ごとに取り合い、取った児童は標語を読み上げ、交通安全の意識の高揚を図ります。

ご利用ください メール配信サービス

天童市では、議会の開催情報や、災害、観光・イベント、健康・子育てなどの情報を、電子メールでお知らせするメール配信サービスを行っています。ぜひご登録ください。

※登録は無料です。ただし、メールの受信などにかかる通信料・パケット通信費は登録された方の負担となります。

かんたん登録

すべてのメニューを受信する登録方法です。
tndml@city.tendo.yamagata.jp
または、右の二次元コードに空メールを送信してください。



市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、12月12日・13日の2日間の日程で、11人の議員が行いました。

市長の三期目の所信をはじめ、スポーツ振興や就学援助の取り組み等について、市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★清新会

笹原隆義 議員

* 本市における国家戦略特区の必要性について

水戸芳美 議員

* スポーツ振興について

山崎 諭 議員

* 子育て支援施設整備用地購入に関しての住民訴訟について

山口桂子 議員

* 健康都市の創造について
* 手厚い乳幼児支援について

★政和会

三宅和広 議員

* 学校トイレの洋式化について

* 様々な啓発運動と連動した市庁舎等のライトアップについて

渡辺博司 議員

* 観光・ものづくり日本一への挑戦について
* スポーツ・文化・健康づくり日本一への挑戦について

結城義巳 議員

* 新・教育委員会制度下の教育行政について

* 文化向上と人口増加策について

松田光也 議員

* すべての子どもたちの良質な成育環境の保障と子ども・子育て支援について

★市民クラブ

狩野佳和 議員

* 三期目が始まるにあたり、市長の所信について
* 天童市スポーツセンターの拡充について
* 交通弱者の交通手段の確保について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一 議員

* 就学援助の取り組みについて

伊藤和子 議員

* 子育て日本一を目指す天童市として「子育て支援宣言の取り組み」の推進のために
* AED設置の普及と周知を高めるために

12月定例会

審議日程

平成28年度第4回市議会定例会（12月定例会）は、12月8日から12月22日までの15日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の人事案件2件、契約案件1件等について採決が行われました。そのほか、平成28年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案8件と、条例議案等4件及び請願2件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、最終日の本会議に採決が行われました。

また、12月22日に予算議案1件、委員会提出議案1件、決議案1件が追加提出され、採決が行われました。
(採決結果は10ページに掲載してあります。)

月 日	内 容
12. 8 (木)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など)
12. 12 (月) 12. 13 (火)	本会議 (市政に関する一般質問)
12. 15 (木)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査)
12. 16 (金)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
12. 19 (月)	予算特別委員会 (付託案件の審査)
12. 20 (火)	予算特別委員会 (討論、表決)
12. 22 (木)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)

国家戦略特区により人材獲得を

議員 義 隆 原 笹



地域の産業を守り、伝統文化を継承し、本市を発展させるためには、安定した税収と財源を確保し、生産年齢人口を増加させ地域のコミュニティ衰退、高齢化社会などの日本を取り巻く環境悪化に歯止めをかけることが重要である。

山形空港を活用した農産物の輸出、国内外の技術者や農業に関心のある学生、若者の留学や就労ビザ申請の規制緩和、耕作放棄地再利用のための土地取得と耕作権の規制緩和や減免など、農業を中核とした生産から消費・育成までイノベーションをする特区が必要だと思う。

また、人材不足の分野に就労ビザなどの緩和による特区で、外国人の力を取り入れ、持続可能な街づくりを目指してはどうか。そのためにも行政、議会での勉強会をスタートさせてみてはどうか。市長の考えを伺いたい。

山本市長 本市において特区の活用は必要なく、今後とも農業委員会、天童市農業協同

組合と連携しながら耕作放棄地の解消や後継者育成に努めていく。介護職員や保育士の確保が大変で、特定の職種について労働力が不足している状況であるが、外国人労働力で確保したいという具体的要望はなく、外国人労働力確保のため規制緩和に向けた特区申請は考えていない。山形空港を活用した農産物の輸出については、庁内で勉強会をスタートしていこうと思う。

積極的な異文化交流を

外国人との垣根を減らしていくためにも、異文化交流を活発的に進めていくべきではないか。例えば市内の小・中学校で国際理解教育の一環として外国人の方に母国の文化を紹介してもらおうのも手と思うが市長の考えを伺いたい。

山本市長 現在、外国語教育に非常に力を入れていこうとしている。外国人とのふれあいの中で交流の輪が広がっていくと思うので、是非教育委員会に話をしていこうと思う。

ラージボール卓球の普及とPR

議員 美 芳 戸 水



リオデジャネイロオリンピックで使用した卓球台の脚は地元企業が製作した。市で一台購入し、展示してはどうか。また、ラージボール卓球は、ボールが大きく強く打つてもスピードが出ないので、年齢や男女を問わず誰でも楽しめる。生涯スポーツや健康づくりに最適なので、各市立公民館に卓球台を設置し、ラージボール卓球の素晴らしさを発信してはどうか。



山本市長 常設の展示は難しいが、期間限定の展示は可能なので天童木工の理解をもたせて考えたい。

相澤教育長 ラージボール卓球は、公民館だよりで紹介するなど、普及に寄与しながら、地域の生涯スポーツの推進、健康づくりを進めていく。卓球台は、地域のニーズを確認しながら、必要なところ

パークゴルフ場と天童高原の整備

には整備していきたい。

天童パークゴルフ場川原子コースは、公認コースであり、シーズンを通して自然と一体となり楽しめる。整備しだいでは日本一に成り得る。利用者からは、河川下流の方に18ホール増設の要望もあり、今後、整備を含めどのように考えているのか。

天童高原スキー場のハヤブサコースの最初の降り場が少し急である。初心者でも滑れるように、圧雪車が通れる幅で良いので土を移動して緩斜面にしてはどうか。

山本市長 36ホールへの拡張は、将来的には造ってきたい。現在、新たなコース整備計画はないが、利用状況を見極め、必要に応じて河川管理者の県と協議する。また、様々な課題については、出来ることから解決していく。

天童高原スキー場ハヤブサコースについては、降雪後緩斜面にするため圧雪車で迂回コースを整備する。

子育て支援施設に関する住民訴訟の影響は

議員 山崎 さとし



山本市長 市としては、一貫して、売買代金決定に際しての系統的瑕疵は存在せず、購入額も妥当であることなどを主張してきたところだが、8月に言い渡された判決は、本市の主張が全面的に認められたものである。市への影響としては、訴訟代理人となった弁護士への費用の支出のほか、

市民が山形地方裁判所に住民訴訟を起こされた。その概要は、用地購入の際の契約に瑕疵があり、値段も割高に買ったもの。適正価格より高く買った分の5237万8950円を損害として、その支払いを市長に対して請求するよう求めたもの。判決は、原告の請求は理由がないから棄却することとなった。これに対しての市長の所見と2年6カ月にもわたった裁判によって市が受けた影響について伺いたい。

芳賀土地区画整理事業地内に建設された子育て支援施設「げんキッズ」の用地購入に関して、平成26年2月に1人の

か、裁判期間中、多くの職員が、通常業務に加え、裁判対応のための資料作成、弁護士との打合わせ、裁判所への出廷等に当たることとなり、そういう意味において、財政的にも人的にも大きな負担になったと認識している。



▲親子でにぎわう「げんキッズ」

現行の住民訴訟制度においては、弁護士費用などの裁判に要する経費は、市民が納めた税金をもってその財源に充てることとなる。こうした負担の生じることについて様々な意見もあるようだが、いずれにしても、行政側が常に緊張感を持って行政運営を行うことが重要であると思ったところである。

健康都市日本一のための取り組みは

議員 桂 くらやま



三期目の公約として掲げる健康都市日本一を具体的にすすめるために、新しい施策として考えていることはあるのか。健康マイレージ事業において、事業の内容を心身ともに健康になるようにポイントを付ける事業を考えてはどうか。本市の受動喫煙防止対策の強化についてどのように行っているのか。

山本市長 健康都市の創造として第七次天童市総合計画の策定の中で、さらなる市民の健康増進のための施策に取り組んでいく。

すこやかMY進事業については、市民の健康的な生活習慣の定着を目標に積極的に推進し、健康づくり講演会等もポイントの対象になるよう拡大していく。

受動喫煙防止対策については、今年10月市内の公共施設全てが建物内禁煙になっていく。今後も多方面に

インフルエンザ予防接種に助成を
手厚い乳幼児支援

策を推進していく。

と取組みとしてママ&チャイルドコンシェルジュの配置による相談強化はどう考えるか。

インフル
インフルエンザ
予防接種
の費用助
成を乳幼
児にも取
り入れる
考えはな
いのか。

市と市民をつなぐコミュニケーションツールとして電子母子手帳導入の考えはないか。

山本市長 ママ&チャイルドコンシェルジュとして妊産婦の不安解消のため電話相談や家庭訪問等を強化した支援を行っている。



▲りんごっこの子どもたちの様子

乳幼児のインフルエンザ予防接種の助成については、乳幼児に対する発熱を指標とした発病の阻止効果が低いことなどから国の動向を踏まえた上で検討していく。

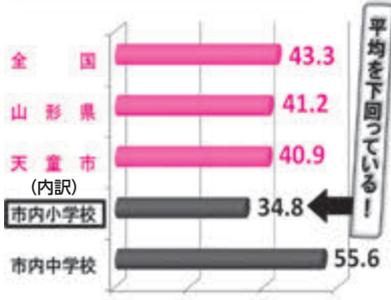
電子母子手帳については、提供上の内容や個人情報管理など様々な課題がある中で、導入については調査研究していく。

学校のトイレを洋式トイレに



議員 ひろ 和 三

学校での洋式トイレの割合 (単位:%)



平均を下回っている！
〔文部科学省公立小中学校施設のトイレの状況調査〕及び天童市教育委員会のデータを基に作成〕

国平均で約43%である。商業施設のトイレはどこでも洋式が当たり前、家庭でも多くが洋式になっている。そうした中、洋式の割合が40%程度という学校の状況は社会の流れに遅れている。子ども達は長い時間を学校で過ごす。しかも、トイレは誰でも使わなければならないものである。学校トイレの洋式化を進めることは喫緊の課題と考えるが、今後どのような取り組みを予定か。

文部科学省は全国の公立小中学校のトイレの洋式便器の実態調査の結果を公表した。これによると洋式便器の割合は全

題と考えるが、今後どのように取り組む予定か。

相澤教育長 本市の洋式化率は小学校で34・8%、中学校で55・6%、全体で40・9%となっており、小学校での洋式化促進が課題であると認識している。今後、改修方針や優先順位等を明確にした上で、年次計画により洋式化を進めていきたい。

啓発運動と連動した市庁舎のライトアップを

国などが実施する様々な啓発運動や、本市が進めるピンクリボンシリーズマイル運動と連動して、市庁舎をライトアップし市民の意識高揚を図ってはどうか。また、モンテディオ山形の試合にあわせモンテブルーにライトアップし、市民挙げて応援する姿を市内外に示してはどうか。

山本市長 市民の意識高揚をどのように図っていくかは難しい課題である。その一つの方策としてライトアップによる啓発は非常に効果があると思う。今後調査研究していきたい。

新たな工業団地の整備と農業を取り巻く環境



議員 渡 辺 博 司

若者にとって故郷の就職先が少なく、故郷に定住を希望する者にとっては大きな問題である。学校の複式学級化が懸念される寺津地区と人口減少が進む高楯地区に、人口増による活性化を促すためにも天童市南西部の開発を必要と考えるが考えを伺いたい。

山本市長 天童インター産業団地は今年度の完成を予定しており、今後も企業誘致による雇用の場の創出と定住人口の拡大を図る必要があることから、新たな工業団地の検討を進めている。工業団地整備の有無は別として、天童市南西部は非常に便利で大変素晴らしい地域には間違いない。

農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化、耕作放棄地の増加、農業の担い手の減少等の問題が山積しており、農業後継者の確保及び育成が必要である。地産地消の推進や食料自給率の向上、6次産業化の推進の観点から米粉を利用した取り組みを推進すべきと考えるが考えを伺いたい。

山本市長 農業後継者の確保・育成は本市農業の持続的な発展を図るために不可欠であり、機械・施設等の導入支援、青年就農給付金の給付等の支援を行っている。また、地場産米の米粉を活用した地産地消や6次産業化のさらなる推進のために、有利な補助事業等の情報を収集し、米粉の利用拡大を推進していく。

スポーツ・文化・健康づくり日本一への挑戦

市体育協会の基本方針でもある市民一人ひとりがそれぞれの体力や年齢に応じてスポーツを楽しみ、健康で明るい生活を送ることが大切であると考える。スポーツは、する・見る・支えるの3つの柱が連動し、感動を味わうことで、やる気、元気を起こす原動力となる。プロスポーツ団体への支援について方針を伺いたい。

山本市長 プロスポーツチームについてはホームタウンTENDO推進協議会を核として積極的な支援を継続、強化していきたい。

天童の教育をさらによくするために

議員 巳 義 城 結



教育基本法等が改正されたが、教育の一般行政からの独立性が守られるのか心配である。その対応として、教育委員定数を8人とし、教育長を含め9人の合議制にしてはどうか。市内小中学校児童生徒の学力向上を図るべきである。ある程度の学力が付いた子ども達には、能力の限界まで伸ばす教育も必要である。ノーベル賞を目指す子ども達がいっても良いと考えるがどうか。子ども達のいじめや言葉の乱れ、物事を深く考えない人間が増えていることが現在の社会問題ではないのか。社会教育活動として取り組むべきである。学校、家庭、地域、三者相互の連携協力が大切であるが、現状は十分でないと考えているがどうか。

教育基本法等が改正されたが、教育の一般行政からの独立性が守られるのか心配である。その対応として、教育委員定数を8人とし、教育長を含め9人の合議制にしてはどうか。市内小中学校児童生徒の学力向上を図るべきである。ある程度の学力が付いた子ども達には、能力の限界まで伸ばす教育も必要である。ノーベル賞を目指す子ども達がいっても良いと考えるがどうか。子ども達のいじめや言葉の乱れ、物事を深く考えない人間が増えていることが現在の社会問題ではないのか。社会教育活動として取り組むべきである。学校、家庭、地域、三者相互の連携協力が大切であるが、現状は十分でないと考えているがどうか。

新能による活性化を

生涯学習フェスティバル2016において、明治大学の土屋恵一郎学長から、将棋と能を結びつけた「新能」の創作公演について提言があった。市活性化のために実現してはどうか。

生涯学習フェスティバル2016において、明治大学の土屋恵一郎学長から、将棋と能を結びつけた「新能」の創作公演について提言があった。市活性化のために実現してはどうか。

社会のニーズに合う育成環境について

議員 光 田 松



近年の社会構造・就業構造等の変化により、小学校就学前の教育・保育のニーズは多様化しており、保育環境の改革をすべきと考える。国の認定こども園法の制度の一部が改正され、子ども・子育て支援の新制度が施行されたが、幼保連携型認定こども園の推進について伺う。

また、成生児童館は築45年で老朽化しており、地域から毎年改築の要望が提出されている。年々成生小学校の入学児童数が増えており、社会ニーズに合う幼保連携型認定こども園として改築する考えはないか伺う。

本市において、共稼ぎ世帯の増加や核家族化の進行などに伴い、保育需要が年々増加している。そうした現状を踏まえ、現時点では、認可保育施設の受け入れ可能枠の拡大など、地域のニーズ

にこえることができない保育環境の整備に優先的に取り組み、就学前の子どもの育成環境の充実を図りたいと考える。

幼保連携型認定こども園については、子ども・子育て支援新制度において、認定こども園の設置を推進している。認定こども園は、教育と保育を一体的に受けることができるとの期待がある。その中でも、多様な保育ニーズに対応できるように、引き続き認定こども園などの保育施設の充実がなされている。本市としても、多様な保育ニーズに対応できるように、引き続き認定こども園などの保育施設の充実がなされている。本市としても、多様な保育ニーズに対応できるように、引き続き認定こども園などの保育施設の充実がなされている。

幼保連携型認定こども園については、子ども・子育て支援新制度において、認定こども園の設置を推進している。認定こども園は、教育と保育を一体的に受けることができるとの期待がある。その中でも、多様な保育ニーズに対応できるように、引き続き認定こども園などの保育施設の充実がなされている。本市としても、多様な保育ニーズに対応できるように、引き続き認定こども園などの保育施設の充実がなされている。



市のスポーツセンターの更なる拡充を

議員 和佳野狩



昨今、市民へのスポーツの普及は盛んで、尚且つ多種多様に及んでいる。健康づくりのためにスポーツセンターの拡

充を希望する。①冬季の屋外競技の場所の確保のために、屋内外に関わらず、ほとんどの競技が可能な全天候型・開閉式のドーム型の、多目的屋内運動場を整備すべき。②パークゴルフ人口は全国的に急増している。全国大会も出来る公認コースを4コース整備すべき。③市民の健康づくりのために屋内型の市民プールを整備すべき。

山本市長 ①屋内コートは冬期間の特に夕方が込み合っているが日中や月曜日は空いている。県総合運動公園の多目的コートがあり、現在のところ新たな多目的運動場の整備計画はない。②現在のところ新たなパークゴルフ場の整備計画はない。③市総体の水泳競技は県総合運動公園の屋外プールで実施している。他に年間利用できる温水型屋内プールがあり、天童スイミン

グスクールやビーフリーのプールがある。現在のところプールの整備計画はない。

交通弱者の交通手段の確保の拡充を

交通弱者の足の確保のために運転免許証の自主返納者には、タクシー利用券、ドモスの利用券、バスの定期券購入券を1年限りでなく複数年に拡充すべきでは。

また、国道13号東側の高校生等市民が、国道13号を渡らず安全に市営バスを利用できるように、発着地点を県総合運動公園に延長すべきでは。

山本市長 県内では、多くの自治体が1回限りとなっている。また、タクシー事業者が1割引き、バス事業者が1カ月1万円の定期券の販売など、事業者でも支援策を行っており、現行の通り返納時のみとしたい。

市営バスは委託事業者の山交バスとの協議が必要である。また、費用の3割を負担している寒河江市との協議も必要なため現在のところ考えていない。

就学援助入学準備金 早めの支給を

議員 昭一石垣



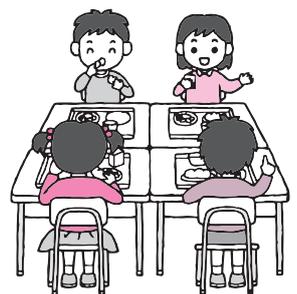
就学援助の入学準備金を入学前に支給することについて、三期目の公約として掲げる健康都市日本一を具体的にするために、新しい施策として考えていることはあるのか。

相澤教育長 現在、新入学用品の支給時期は、小学校、中学校とも、それぞれ1年生の6月に支給しているが、準要保護児童・生徒の保護者の負担軽減を図るため、中学校への入学準備金としての支給を平成29年度入学対象者から入学前の3月支給を考えている。

しかし、小学校への入学準備金の支給は、対象となる保護者への周知等の事務手続に要する期間がないことから、平成29年度はこれまで通り6月支給とし、平成30年度入学対象者からは、入学前の支給を考えている。

学校給食費の保護者負担軽減を

子どもの貧困の深刻化が大きな課題となっている。子どもたちの食をめぐって、



て、まともな食事は給食だけ。また、給食費の未納も増えているとの報告がある。全国2割の自治体で何らかの保護者負担軽減を実施している。義務教育は無償という立場から、本市でも実施する考えはないか伺いたい。

相澤教育長 学校給食法では施設の整備費、修繕費、人件費などは市が負担することになっている。それ以外の経費である光熱水費や食材費は保護者が負担すると定められているが、本市では食材費のみの負担で軽減を図っている。

こうした中、全国的に給食費の保護者負担の軽減策に取り組み自治体が増えてきている。本市においては、今後の給食費軽減の全国的な動きを見ながら、他の自治体の取り組み状況等を調査・研究したいと考えている。

子育て支援宣言でいっそうのアピールを

伊藤 和子 議員



市民、企業、行政が一体となった子育て支援の取り組みは、各自治体で様々な方法で展開されている。地域の様々な立場の方々の子育て支援に対する思いを集め、発信することは、子育て支援日本一を

目指す本市として、市内外に向けた効果的なPRになり、市民の子育て支援への機運の醸成にも結びつくものと考えている。

今後、宣言の事例も参考に、市全体で子育て支援を発信するための取り組みについて、児童福祉審議会の中で協議していきたい。

山形県で「山形みんな子育て応援団」の取り組みを展開しているが、県のホームページにおける本市の情報が少ない、古く、消極的だ。市の関わり、取り組みの考えは。子育て支援日本一をめざす天童市として、市民一人ひとりが優しさや思いやりを言葉と行動に表すため、地域や団体としてできることを宣言するとともに、企業が仕事と子育てを応援するための「子育て支援宣言」に取り組む考えはないか伺いたい。

山形市長 山形みんな子育て応援団の取り組みについて、ご指摘のとおり、有効に活用してきたと言えない。今後、情報を積極的に提供して、随時、本市の取り組みを発信していく。

山形市長 市が設置しているAEDは公共施設53カ所に58台で、設置場所は市のホームページに掲載している。民間事業者の設置状況は一般財団法人日本救急医療財団への登録状況では介護施設など約70カ所以上に設置されている。

山形市長 市が設置しているAEDは公共施設53カ所に58台で、設置場所は市のホームページに掲載している。民間事業者の設置状況は一般財団法人日本救急医療財団への登録状況では介護施設など約70カ所以上に設置されている。

今後、宣言の事例も参考に、市全体で子育て支援を発信するための取り組みについて、児童福祉審議会の中で協議していきたい。

AED設置の現状と市民への周知を

誰にでも使えるAED(自動体外式除細動器)設置の現状は。



議会のうごき

11月

- 1日 山形県市議会議長会事務局長会議(天童市/議長・局長)
- 1日 農業委員と農業振興懇談会・懇親会(経済建設常任委員)
- 2日 東北市議会議長会理事会(議長・局長)
- 4日 議会運営委員会
- 5日 天童ラ・フランスマラソン2016
- 7日~8日 ラ・フランスストップセールス(大阪/議長)
- 7日~10日 議会報告・意見交換会(市内12会場)
- 8日 岩手県遠野市議会行政視察
- 9日 広報委員会視察調査(東根市/広報委員)
- 9日 山形県市議会議長会議会報研修会(村山市/広報委員)
- 9日 愛知県安城市議会行政視察
- 10日 埼玉県新座市議会行政視察
- 15日 市長要請環境福祉常任委員会
- 15日 第136回山形県市議会議長会総会(長井市/議長・副議長・局長)
- 16日 全国市議会議長会 第157回産業経済委員会(東京/議長・局長)
- 17日 市長要請各派代表者会
- 17日 宮城県川崎町議会行政視察
- 18日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 議会運営委員会(組合議員)
- 18日 天童市交通安全推進協議会(議長)
- 21日 山形県市議会議長会 県知事及び県議会議長への要望運動(山形県庁/議長・局長)
- 21日 埼玉県川口市議会行政視察
- 22日 市長要請経済建設常任委員会

- 22日 市長要請環境福祉常任委員会
- 22日 三市二町正副議長懇談会(山形市/議長・副議長・局長)
- 29日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 全員協議会・定例会

12月

- 1日 議会運営委員会
- 1日 各派代表者会
- 8日 広報委員会
- 8日~22日 第4回市議会定例会
- 20日 市長要請環境福祉常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 市長要請総務教育常任委員会
- 22日 広報委員会

1月

- 4日 新春賀詞交歓会
- 6日 広報委員会
- 11日~12日 議会運営委員会先進地視察(和光市、厚木市)
- 13日 広報委員会
- 16日 市長要請経済建設常任委員会
- 18日~20日 清新会先進地視察(横須賀市、三島市、沼津市)
- 24日~26日 政和会先進地視察(東松山市、清瀬市、柏市)
- 25日 東根市議会との議員懇談会(東根市/議長、副議長、各委員長)
- 27日 村山市議会との議員懇談会(議長、副議長、各委員長)
- 31日 全国市議会議長会 第158回産業経済委員会(東京/議長・局長)

予算特別委員会



国の経済対策による 補正予算前倒し整備

平成28年度一般会計補正予算

10億8295万4000円を増額補正し
283億6716万6000円に

12月8日の本会議に上程された補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において原案のとおり可決されました。国の補正予算による補助事業の追加内示を受けて、平成29年度の事業を前倒しするものです。

また、12月22日の本会議において、県の補助を活用した福祉灯油助成金についての追加補正予算が上程され、原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

学校環境を前倒しで整備

委員 小学校施設整備工事費 4億2689万4000円の

内容及び工事の時期は。

教育次長 天童北部、蔵増及び長岡小学校の3校で空調設備の改修を行う。平成29年9月までに工事完了を予定している。また、高楯小のプール改修、長岡小のグラウンド整備を予定しており、いずれも学校行事等での使用期間終了後に工事を開始したい。

愛宕沼周辺等を整備

委員 天童古城地区の整備に要する経費約2億4871万円の工事内容は。

都市計画課長 国の2次補正により平成29年度の工事を前

倒しして整備するもの。

愛宕沼の千夜子碑周辺の整備、愛宕沼下の駐車場、公園管理事務所の移転新築、天童古城地区内の案内板、腰掛庵付近の退避所と交差点のカラー舗装、都市計画道路山形老野森線の松並木とバス停ベンチを整備するもの。

天童南駅の駐輪場の整備

委員 芳賀地区の整備に要する経費約635万円の工事内容は。

都市計画課長 JR天童南駅の駐輪場を整備するもの。当初予算の60台に今回補正の40台を追加し、合計で100台分整備するもの。なお、駅前広場の完成時期は平成29年9月末の予定。

児童増加にともないクラブを増設

委員 工事費用約432万5000円の内容は。

子育て支援課長 利用児童が増加している天童南部、成生、津山の放課後児童クラブについて、仮設のユニットハウスを設置し、平成29年度から対応していく。工事費用は、この内、天童南部、津山の両施設を支援なく利用するため、既存の建物に出入り口や渡り廊下を設けるための費用である。

美術館施設整備工事費

委員 工事費286万円の内容は。

文化スポーツ課長 7月30日の落雷による被害状況は、2階展示室の照明調光設備の基盤、地デジアンテナブースター、収蔵庫の照明が破損し、交換を必要とするものがあり、年度内の復旧を考えている。また、照明は白熱球を使用していたが、電気消費量が少ないLEDに変更する予定である。

一般会計補正予算(第4号及び第5号)のあらまし

補正額 10億8295万4000円

主な内容 (単位：万円)

経済対策臨時福祉給付金システム改修業務委託料	324
経済対策臨時福祉給付金	1億7,250
障がい児の一般福祉に要する経費	871
障がい児通所支援の給付に要する経費	4,018
保育所等整備事業費補助金	3,390
放課後児童クラブ施設整備工事費	432
斎場の管理運営に要する経費修繕費	292
天童市民病院事業会計負担金	1億6,301
道路の管理に要する経費	1億1,860
天童古城地区の整備に要する経費	2億4,871
芳賀地区の整備に要する経費	635
小学校施設整備工事費	4億2,689
美術館施設整備工事費	286
福祉灯油助成金	1,150

提出された議案とその結果

平成28年度第4回市議会定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
議第26号	平成28年度天童市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)
議第27号	平成28年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第28号	平成28年度天童市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第29号	平成28年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第30号	平成28年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第31号	平成28年度天童市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第32号	平成28年度天童市民病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第33号	平成28年度天童市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第34号	天童市特別職に属する者の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第35号	天童市市税条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第36号	天童市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の設定について	原案可決 (全会一致)
議第37号	荒谷西工業団地の分譲地の処分について	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第38号	市道清池南小畑線道路改良工事(第5工区)請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第39号	交通事故に係る損害賠償の額の決定について	原案可決 (全会一致)
議第40号	天童市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	同意 (全会一致)
議第41号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 (全会一致)
議第42号	平成28年度天童市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)

《委員会提出議案》

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第2号	軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

《決議案》

議案番号	件名	結果
決議案第1号	天童市における指定暴力団浪川会浪川総業の排除宣言に関する決議について	原案可決 (全会一致)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

現固定資産評価審査委員会委員の矢野美佐子氏(交り江)が、平成28年12月14日をもって任期満了となることに伴い、再び同氏を選任することに同意しました。

情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱に同意

情報公開・個人情報保護審査会委員が平成28年12月31日をもって任期満了となることに伴い、半田稔氏(山形市)と中島宏氏(山形市)と山川晴美氏(東本町)を再任し委嘱することに同意しました。

平成28年度構成市町負担金確定額

(単位：千円、%)

市町名	H28年度	H27年度	前年比
天童市	308,970	323,250	95.6
東根市	258,097	270,636	95.3
村山市	135,283	142,575	94.9
河北町	114,611	122,279	93.7
合計	816,961	858,740	95.1

平成28年11月29日に組合議会が開催され、平成28年度の各市町の負担金が確定した。負担金は、均等割、施設規模割、し尿処理量割(平成27年度実績)、ごみ処理総量割(平成27年度実績)、証紙事業(ごみ袋代等)などで決定した。

各市町の負担金が確定

東根市外二市一町
共立衛生処理組合

暴力団排除宣言

決議案を全会一致で可決

議会最終日の12月22日に「天童市における指定暴力団浪川会浪川総業の排除宣言に関する決議」を全会一致で可決しました。

天童市における指定暴力団浪川会浪川総業の排除宣言に関する決議

現在、天童市鎌田地区には、指定暴力団浪川会浪川総業（以下「浪川総業」という。）の組事務所が所在しており、組員等が出入りしている現状にある。

浪川総業が属する浪川会の前身である九州誠道会は、九州地方において道仁会との対立抗争を起こし、この抗争では善良な一般市民を巻き添えにした事件が発生している。

浪川総業の組事務所が所在する天童市鎌田地区周辺は、小中学生の通学路にもなっているため、将来、抗争が発生した際、子どもたちが巻き込まれることが危惧される。また、組事務所が存在することで、市民の平穏な日常生活と安全が脅かされており、市民生活の安全・安心を確保するためにも、早急に組事務所の撤去と浪川総業を解散させる必要がある。

平和で明るく住みよいまちづくりは天童市民の切実な願いであり、市民生活の安全・安心を脅かす浪川総業の存在は、断じて容認することはできない。

よって、天童市民の代表である天童市議会は、安全・安心なまちづくりのため警察当局を始め市民や関係各機関との相互連携を強化し、組事務所への撤去と浪川総業を解散させるための活動を強力に推進していくことを固く決意する。

以上決議する。

平成28年12月22日 天童市議会

意見書の提出

12月22日に総務教育常任委員会から提出された意見書提出議案は、原案のとおり可決され、意見書を直ちに関係機関に送付しました。

▼軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

道路の使用に直接関係がない機械等に使用される軽油について設けられている軽油引取税の課税免除の特例措置（以下「免税軽油制度」という。）が、平成30年3月31日で廃止される状況にあります。

免税軽油制度は、1リットル当たり32円10銭を免税する制度で、道路を運行しない船舶、鉄道、農林業用機械、製造業用機械など幅広い事業の動力源の用途などに認められてきました。

本市の冬の観光を支えてきた天童高原スキー場においては、ゲレンデ整備のために使用する圧雪車、降雪機等に使用される軽油が免税となっており、厳しい経営環境にある中で、極めて重要な制度であり

ます。

この免税軽油制度が廃止されれば、索道事業者は大きな負担増を強いられ、スキー場の経営維持が困難でさらに厳しいものとなるだけでなく、本市の農林水産業及び観光の経済全般に大きな打撃を与えることが危惧されます。

よって、国においては、農林水産業や観光産業等幅広い

産業への影響を鑑み、免税軽油制度を継続するよう強く要望します。

提出先 内閣総理大臣
総務大臣
衆議院議長
参議院議長
財務大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
農林水産大臣

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は2件で、所管常任委員会で審査した後、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
軽油引取税の課税免除特例措置の継続に関する請願について	東北索道協会山形地区部会 部長 岡崎宏一 特定非営利活動法人NPO天童高原 理事長 工藤一夫	総務教育	採 択 (全会一致)
工事発注時期の平準化を求める請願	天童市建設業同友会 会長 東海林松男	総務教育	採 択 (全会一致)

に学ぶ

行政視察の報告

議会では、常任委員会ごとに、先進的で魅力ある施策を実施している自治体などへの行政視察を行っており、視察調査事項に関連する部署の職員も同行しています。

行政視察の成果は、市議会の中で、本市が抱える行政課題や市への提言等に反映され、今後のまちづくりに活かされています。

今回実施した行政視察の内容をご報告します。



▲浅口市でICT教育の説明を聴く

総務教育常任委員会

10月11日～13日

《広島県 東広島市》

学生消防団活動

東広島市西条は、灘・伏見と並び称される銘醸地で国内唯一の酒研究所があり人口約18万5000人。

東広島市の消防団組織は10方面隊46分団で1637人(欠員45人)。団員確保策として条例を改正して市内4大学の通学生を対象に学生消防団員を組織。また、就職活動を支援するため認証状を交付している。現在23名で内9名が女性である。

東広島市の消防団組織は10方面隊46分団で1637人(欠員45人)。団員確保策として条例を改正して市内4大学の通学生を対象に学生消防団員を組織。また、就職活動を支援するため認証状を交付している。現在23名で内9名が女性である。

《広島県 呉市》

ゆめづくり地域協働プログラム

呉市は人口約23万1000人の瀬戸内海有数の工業都市で、大和ミュージアムには年間約100万人が訪れる。

プログラムの目標は地域力の向上と協働型自治体への移行であり、具体的取組みとして市民視点を持った協働型職員育成や、年間事業費約1億円です。

《岡山県 浅口市》

ICT活用教育

瀬戸内海を臨む自然豊かなまちで、国立天文台と天文博物館があり本州唯一のアツケシソウの自生地人口約3万5000人。

浅口市の教育目標は「地域づくりは人づくり」学力ナンバワンプロジェクトで子どもたちの学びを全力サポート。タ

環境福祉常任委員会

10月18日～20日

《大分県 別府市》

キャンプ地への立候補

別府市は、人口約12万2000人で、「別府八湯」と呼ばれる温泉群が点在し、温泉

湧出量・源泉数とも日本一の温泉都市である。2020年東京オリンピックの1年前に、ラグビーW杯が開催されるため、公認のキャンプ誘致を働きかけている。期待される効

活動を支援するため、交付金を支給し、協働のまちづくりを推進している。

高齢化率が高く自治会役員負担が最大の課題。全国的な問題であるが地域への交付金と自治力が比例するかは疑問である。

タブレットは、各小中学校の教育面から様々な使い方の提案や試行と情報交換を重ね、教員が操作に慣れる期間を経て導入。ICT支援員として(株)ベネッセに委託、学力向上と教員の負担軽減を図っている。他に放課後学習サポートや夏休みを短縮しての学力アップに取り組むなど、充実した内容であった。本市においても力を入れていく必要があると感じた。

※ICT教育 タブレット
ト型端末や電子黒板など情報通信技術を活用した教育。

《大分県 大分市》

芸術振興計画

大分市は、人口約47万9000人で、大分平野の中心に位置する商業都市である。「2020わくわく大分文化・芸術ゆめプラン」を策定し、市民と行政が一体となって、

先進地

常任委員会



▲整備中の小牧山を視察



▲大分市で文化・芸術振興プランの説明を聴く

多種多様な文化・芸術のさらなる振興を図るとともに、様々な生活シーンに文化・芸術の有するパワーを最大限に活かすことで、まちに住むことを誇りに思えるまちづくりを目指している。各種団体が活発に取り組んでいるが、課

題もあり、団体の新たなメンバーの確保や後継者の育成、質の向上、資金の確保など、我々の地域と同じような悩みを抱えていた。

由布市は、人口約3万5000人。湯布院地域には保養温泉地として多くの観光客が訪れている。平成25年に、由布市健康立市宣言を行い、健康都市構築に向けた健康施策を積極的に推進している。その一つに、湯布院健康温泉館

「クアージュゆふいん」があり、水着で運動浴ができるゾーンや、トレーニングジムなどがあり、水中運動教室や、各種マイレージ事業も行っていた。本市のゆびあでも参考にできると感じた。

経済建設常任委員会

10月12日～14日

《和歌山県 橋本市》

企業誘致

橋本市は、和歌山県北東端に位置する人口約6万4000人の高野山の北の入口にあたる市である。

紀州へら竿・パイル織物の生産は日本一である。

企業誘致は、南海電鉄(株)とUR都市機構の用地を団地化することで平成19年度から始まり、その後も県・南海電鉄と協定し新たな団地を造成中という。

誘致企業33社、操業開始26社。その合計従業員745人中、新規地元雇用308人。雇用効果も税収も含め誘致効

果が上がっているものの、大阪への人口の流出を止められないとのことであった。

自前の産業創出こそが地方創生であると実感した。

《三重県 四日市市》

新たな分野にチャレンジする農家の支援

四日市市は、臨海部は大石油コンビナート、内陸部は半導体工場が立地する中京圏有数の産業都市である。人口約31万2000人の大商業都市でもある。

都市近郊型農業が行われており、トマトの促成栽培、いちご栽培、また市西部の山麓では、日本一の「かぶせ茶」

を生産している。

農業従事者は減少を続けており、その9割が兼業、経営面積も小規模であり、平成16年度から農業再生事業に取り組んでいる。

農家の育成、農地の保全に加え、企業の農業参入支援等のアグリクリエイター創生事業として、国の施策に加えて市単独の補助事業を展開している。

その効果は、家族経営から脱却できず施設・機械整備が進んだに過ぎず、経営センスを持った農家の育成が課題とすることであった。

《愛知県 小牧市》

地域ブランド戦略

小牧市は、名古屋市の北、15キロに位置する人口約15万

3000人の名古屋都市圏の中核市である。

東名・名神・中央高速自動車道と名古屋高速道路の結節点、名古屋空港を抱える陸空の交通拠点である。製造品出荷額1兆4000億円の内陸工業都市で、昼夜間人口比率115%を誇る。

自治体間競争に負けまいと「地域ブランド戦略」を策定しブランドの柱となる子育ての充実と観光資源として小牧山の整備に取り組んでいる。グッズ販売や絵本の配布によるプロモーション活動を活発に行っている。

企業誘致・住宅団地造成も進行中であり、その食欲さに感心させられた。

議会報告・意見交換会

9回目となる議会報告・意見交換会を、11月7日から10日まで市内12カ所の市立公民館を会場に開催し、110名の参加者がありました。参加していただきました市民の皆様、大変ありがとうございました。各会場で出されました議会・議員に対するご意見やご要望等は、議会運営委員会と議会としての対応を協議し、その対応をお知らせします。

また、市政に対するご意見・ご要望については、市民の皆様のご貴重な声と受け止め、議会における政策立案や政策提言につなげていきたいと考えております。さらに、市長等に文書で提出します。

なお、各会場の報告書（簡易な会議録）については、市立公民館及びホームページからもご覧いただけます。

1班 寺津・津山・天童中部

伊藤和子、結城義巳、村山俊雄、佐藤俊弥、熊澤光吏

参加者が少なく、お互いの自己紹介から始まり、膝をつきあわせての懇談となった。住宅団地や側溝整備などの地域課題や、市の施策の進捗状況に対する議会の対応などへの貴重な意見や叱咤激励もあった。請願の扱いについて、議会としての役割、議員としての資質を問われるなど、厳しい声も聴かれた。参加者を増やす議会としての努力が課題とされた。

2班 天童南部・成生・蔵増

伊藤護國、赤塚幸一郎、山口桂子、松田光也、武田正二、渡辺博司

今回の意見交換会では、成生・蔵増地区とも多くの方が参加され、活発な意見交換がなされ、大変有意義な議会報告会であった。特に地域振興のあり方や自治会活動のあり方、運営の仕方、災害時の対応や対処の仕方など自然災害に対する話題が多く出され、近年の異常水害や地震に対する備えなど身近な問題についての切実な課題が話し合われ、防災防備対策が望まれていると感じた。



3班 荒谷・高掬・山口

水戸 保、山崎 諭、狩野佳和、水戸芳美、三宅和広

9回目となる今回は、各地区の文化祭、公民館大会等の直後のためか、全体的に春よりも参加者が少なかった。3会場とも周辺部のためか、人口減少の対策をどう考えるのが共通の話題だった。都市計画による中心部の区画整理事業が進んでいるが、市内の均衡ある発展のために、周辺部の開発等をどう考えるのかと各議員に質す地区もあった。終了後に、それぞれの意見が聞けて良かったと言われた。今後の参考にしたい。

4班 天童北部・長岡・干布

石垣昭一、後藤和信、遠藤敬知、遠藤喜昭、笹原隆義

議会報告会における参加者は、固定化されている面もあるが、意見交換の場では和やかに話し合いを進めることができた。また参加者からは、有意義であったとの言葉もあり内容のある報告会となった。今回担当した、それぞれの地域から出されたご意見・ご要望など課題解決のために、議会としての対応が求められており、政策形成にどう生かして行くのかが問われているものと思った。

議会・議員に対する意見・要望等（アンケートから抜粋）

議会報告・意見交換会の運営等

- * 参加者が増えるような手段を講ずることが必要と思慮されます。
- * 議会報告会に参加人数が少なかったのは、残念でした。各地区の町内会連合会の会長始め役員が出席するような手立てをするよう連合会に働きかけてもらったらよいと思います。
- * 議会報告を行う時資料は必要。参加者が少ないなぜか？周知の仕方が悪いのか、知らないのか分かりませんが、せつかくの議会報告会多くの方に参加できるよう周知の仕方をお考えください。
- * 初めての参加でしたが、解りやすくて良かったと思います。只、参加者が少なすぎて残念でした。でも、よいことなので継続していただきたいと思います。もっとアピール方法を工夫した方がよいのかもかもしれません。
- * テーマが漠然となりがち。的を絞った議論（意見交換）の方が具体的意見が出るのではないか。
- * 企画は大変よろしいのですが、域内住民の方々がもっと多く出席していただければ、内容も充実すると思われませんが残念です。
- * 他地区での参加者が少ないところもあるそうですが、大勢参加している地区を参考にしてはどうか。（地区市議の参加）
- * 報告、交換会への参加は初めてであったが、今後も是非また参加したい。
- * 定例会（傍聴）には、何度か見に行ったことがあります。難しくわからないのですがおもしろい。議員の皆様の意見交換を聞いてると「すごいなあ」と思います。また、地区・市民のために、大変良く働いてくださっているとありがたく思います。これからもよろしく願いいたします。

- * 意見交換会は13時に。
- * 議員さん達の考えを直接聞く事ができて良かった。
- * 参加者がますます少なくなっている。市報、議会だより、公民館報等で周知しているが関心がなくなっている。各議員さんは後援会を組織していると思っておりますが、この方面よりPRして欲しい。
- * 今回は参加人数が少なく残念に思いました。告知の方法や声掛けなどをもう少し検討すべきだと思います。参加議員の皆さんからは、分かりやすく丁寧な返答をいただき、大変充実した報告会だったと思います。ぜひ、住みよい町づくりのために、今回の提案内容の実現を期待しております。
- * 参加者が少なく、議会報告会は「誰のため、何のため」やるのか。「誰が責任を持って、参加者を集めるのか」初心にかえて見直しの必要を感じました。
- * 参加者動員をもう少し多くする必要はありませんか。強制はできないでしょうが各町内会に呼び掛ける方法を考えてみてはいかがでしょうか。

議員・議会への要望等

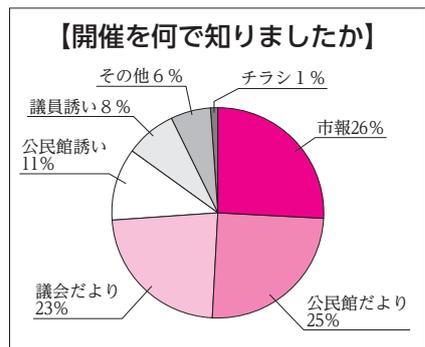
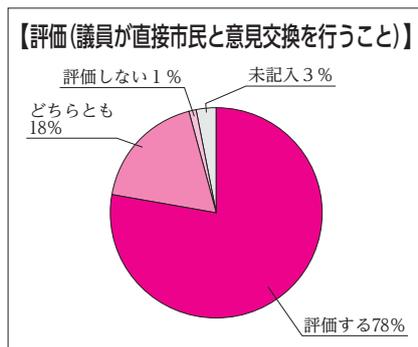
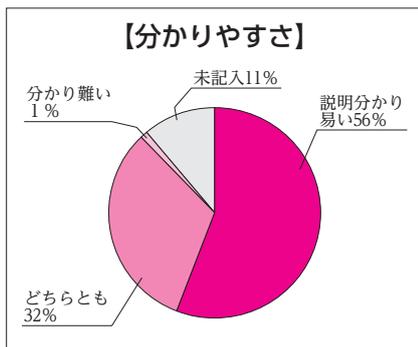
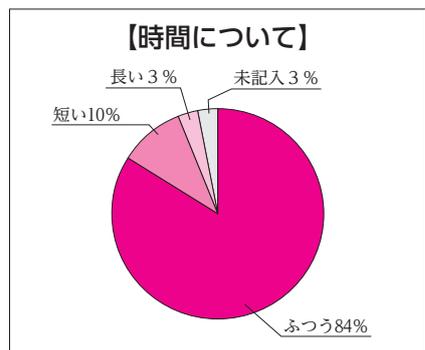
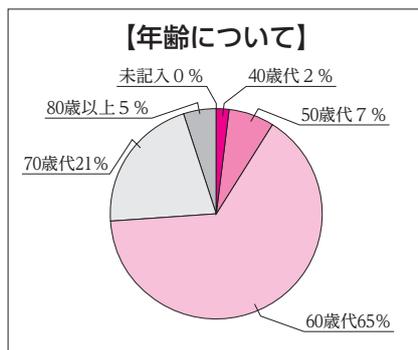
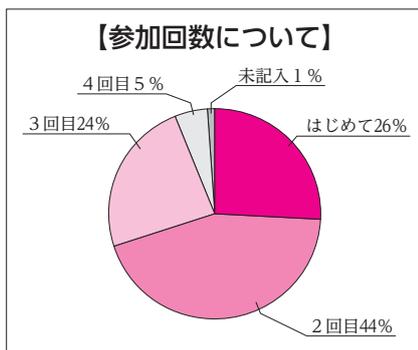
- * 市議会だよりが専門的で内容がわかりにくい。具体的な意見交換会である。

市政への意見・要望等

- * 災害時の備蓄（学校、公民館）の状況。河川対策は如何か。
- * 住みよいシルバー天童の実現をお願いします。
- * AEDの普及 町内会公民館程度迄の設置を希望。子どもたちの学校での躰（道徳）教育の充実、公園、道路等ゴミ捨てが大変目につきます。ゴミ等を捨てるのが子どもたちとは思いますが、その辺も含めた道徳教育を充実させたらどうかと思います。

アンケート

参加者数	天童南部			天童中部			天童北部			成生			蔵増			寺津			津山		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
	4	1	5	3	0	3	10	0	10	24	1	25	15	1	16	1	1	2	5	0	5
	山口			高掬			長岡			干布			荒谷			合計			アンケート		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	回答数	回答率	
	15	0	15	7	0	7	14	1	15	4	0	4	3	0	3	105	5	110	92	83.6%	





市民の声

蔵増小学校 6年生の皆さん

12月13日の本会議に、蔵増小学校6年生の皆さんが社会科の校外学習として、傍聴に来てくれました。傍聴の際の感想文をいただいておりますので、その一部をご紹介します。

おめま 賢太さん

* 市議会が行われている部屋は、まるで小さい国会議事堂でした。ぼくたちが傍聴した一般質問では、子どもの学力について話し合われていました。ぼくたちがもっとよい生活を送るための話し合いをしていることがわかりました。

あびこみく 安孫子未来さん

* 天童市議会では、市内小中学校児童生徒の学力の向上策について話し合われていました。天童市議会の話し合いは、天童市をよりよくしていくための話し合いだとわかりました。

すずき 啓斗さん

* ぼくたちが暮らしている天童市は、市議会のおかげでよりよくなっているんだなと思いました。とても真剣に話し合っていたので、市議会は天童市にはなくてはならない大切なものなんだなと思いました。

とがむら 空さん

* 市議会が始まる時、アナウンサーと音楽が流れて議長さんが登壇しました。モニターには質問時間の残時間が表示されたり、本会議はインターネットで生中継されたりしていることを知り、驚きました。

天童市議会ギャラリー

12月13日、天童市立蔵増小学校6年生25人が、一般質問を傍聴しました。



3月定例会の日程(予定)

- 2月28日(火) 本会議(初日)
- 3月2日(木) 予算特別委員会
- 3日(金) 本会議
- 6日(月) 本会議(一般質問)
- 7日(火) 本会議(一般質問)
- 8日(水) 常任委員会
- 9日(木) 常任委員会
- 10日(金) 常任委員会
- 13日(月) 予算特別委員会
- 14日(火) 予算特別委員会
- 15日(水) 予算特別委員会
- 21日(火) 予算特別委員会
- 22日(水) 予算特別委員会
- 24日(金) 本会議(最終日)

※ 請願の締め切りは、2月20日(月) 正午までの予定です。
※ 日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

インターネットで議会中継 で <http://www.city.tendo.yamagata.jp>

編集後記

● 2017年を迎え、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

● ある夜、私は散歩をして澄んだ空気に満天の星空を見て、とても気持ちが和みました。ただ、雪の量は少ないなあ…。

● 昔に比べ、降雪量が減ったとよく耳にします。スキー場や冬のイベント関係者は恵みの雪に期待をかけているようです。

● 温暖化の余波なのでしょう。異常気象が度々起こる近年、小さいことかもしれませんが私も積極的にエコを心掛けていかなければならないと感じました。(笹原)

《広報委員会》

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤 和子 |
| 副委員長 | 狩野 佳和 |
| 委員 | 佐藤 俊弥 |
| 〃 | 遠藤 喜昭 |
| 〃 | 三宅 和広 |
| 〃 | 笹原 隆義 |
| 〃 | 熊澤 光吏 |

